

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

脊髄疾患のMRI画像解析

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診した患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・ 選択基準

2010年4月から2021年6月の期間中に脊髄疾患の診断で神経内科に入院した患者さん

・ 除外基準

- 1) 脊髄MRIを施行していない患者さん
- 2) 十分な臨床情報が得られなかった患者さん
- 3) 確定診断に至らなかった患者さん
- 4) その他、研究責任者が研究対象として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2010年4月1日～2021年6月30日

4. 研究の概要

日常の臨床において、筋力低下・歩行障害などの運動機能低下を主訴に病院を受診される患者は多い。運動機能低下の原因として、脊髄疾患は主な鑑別疾患の1つであるが、診断に難渋することが頻繁に見受けられる。診断の初期段階で脊髄MRIを撮影することが一般的であるが、脊髄内に病変が見られた場合、その病変がどのような病態を示唆しているか判断は難しい。これまでの研究で、脊髄梗塞の診断にはT2強調画像の”pencil-like hyperintensity”, ”owl eyes sign”などが有用とされており、日本においては代表的な脊髄炎である視神経脊髄炎では3椎体以上の長さのある病変が特徴とされている。しかし、脊髄梗塞は稀な疾患であり、これらの所見を含めたMRIの有用性に関して十分な解析がなされていない。今回、我々は脊髄梗塞患者にみられるMRI所見を調べ、視神経脊髄炎などの他疾患によるMRI病変と比較したいと考えている。

5. 研究実施予定期間

2021年7月21日～2021年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔基本情報〕 生年月日、年齢、性別、身長、体重、血圧、既往歴、現病歴、合併症、入院日、診断名、神経学的所見

〔血液学的検査〕 RBC、Hb、WBC、Neu (%)、Lym (%)

〔血液生化学的検査〕 BS、HbA1c、LDL、HDL、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、BUN、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca

〔画像検査〕 胸部X線、頭部・脊椎MRI、胸腹骨盤CT、大動脈造影CT、脊椎CT

〔生理学的検査〕 胸部エコー、腹部エコー、心電図

〔髄液検査〕 細胞数、蛋白、糖、オリゴクローナルバンド、ミエリンベースックプロテイン

7. 研究により得られ結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者（又は代諾者）個々には開示しない。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 神経内科 小林誠

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)